茶会

嵐山吉兆で祝う 新春の特別茶会

お申込

京の冬景色と、唯一無二のおもてなし。日本最高峰の料亭、京都吉兆の洗練された空間を舞台に、贅を尽くした茶会を催します。新春を寿ぐ濃茶と薄茶の茶席、そして吉兆の技が光る極上の懐石料理。この日限りの極上なひとときをお愉しみください。

※お料理はイメージです

【開催】
1月27日(水)
【時間】
1席目 12時 ～ 15時10分(予定)
2席目 13時 ～ 1時10分(予定)

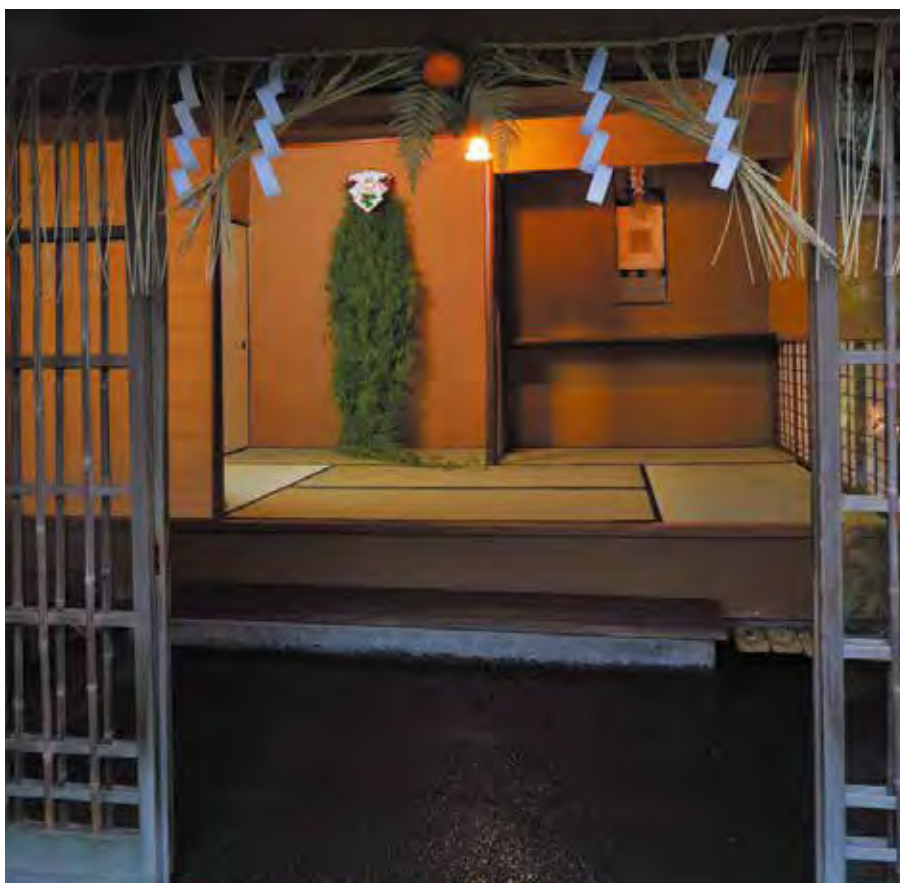
【開催】
1月28日(木)
【時間】
1席目 10時 ～ 13時10分(予定)
2席目 11時 ～ 14時10分(予定)
3席目 12時 ～ 15時10分(予定)
4席目 13時 ～ 16時10分(予定)

※ご都合のよい時間をお選びください
※茶席の後に懐石となります。お料理一品一品の味わいと、贅沢な時間をご堪能ください

【茶席】席主：佐山宗準
(濃茶・薄茶席)

【会費】
80,000円(税込)　【定員】15名(各席)

【会場】京都吉兆　嵐山本店
京福電鉄(嵐電)「嵐山」駅より徒歩約6分 / 阪急電鉄「嵐山」駅より徒歩約15分
JR「嵯峨嵐山」駅南側出口1より徒歩約20分 / JR「京都」駅より通常時タクシー 約40分)



京都吉兆　玄関

ツアー

晩秋の近江路
茶と美をめぐる旅
～百済寺秘仏特別公開鑑賞と招福楼・極上のおもてなし

文筆家・白洲正子が著書『近江山河抄』の中で「日本の楽屋裏」と評し日本の中心であった近江。今回、秘仏公開のMIHO MUSEUMと湖東三山・百済寺の訪問が栄華を誇った近江の美と歴史を五感で愉しむ巡礼の始まりとなります。また、名料亭・招福楼での会食と特別茶席、信楽焼・楽斎窯、「幻の銘茶」政所茶の茶畑を巡り、歴史ある近江が育んだ茶文化へご案内いたします。秋深い近江路・湖東に息づく、まだ見ぬ茶と美を再発見してみませんか。

【開催】12月3日(木)・4日(金)

【会費】165,000円(税込)
※大人1名様料金(2名1室)
※1名1室をご希望の方は別途加算料金をいただきます

【定員】20名(最少催行人数16名 添乗員同行)

お申込

招福楼玄関

信楽茶碗　楽斎造

招福楼 十二月の八寸

百済寺秋景 (公社)びわこビジターズビューロー

奥永源寺の昔

琵琶湖ホテル　瑠璃温泉

【内容】1日目　秘仏公開百済寺・美と歴史の巡礼と古窯信楽焼探訪

9:00　JR京都駅八条口 ご集合

MIHO MUSEUM　古刹百済寺の美と歴史を学ぶ

- 秋季特別展「百済寺と近江の仏教美術ー百済寺秘仏公開によせて」展示鑑賞

※学芸員の解説付き

昼食　陶の辺料理 魚仙　うつわと地元食材を愉しむ

琵琶湖の魚介や地元産の野菜など滋賀の食材を使う老舗料亭。

楽斎窯　五代高橋楽斎　近江の歴史と風土が生んだやきもの信楽とは

古典を基調とし土味と焼味を生かした素朴で穏やかな作品を制作する

- 政所茶による呈茶
- 窯場見学
- 展示鑑賞

天台宗 釈迦山 百済寺　古刹百済寺の美と歴史を体感する

推古14(606)年、聖徳太子により建立された名刹。百済の渡来系氏族により創建され中世には大伽藍を構え、宣教師フロイスは「地上の天国」と称したが信長の焼打ちで灰燼に帰した

- 濱中亮成住職のご案内で山内拝観

琵琶湖ホテル 夕食・泊

琵琶湖を望む全室レイクビューのリゾートホテル夕食には洋食をお召し上がりいただきます

2日目　政所茶と招福楼の美を満喫する

ゆずり屋政所茶　福井肇　かくれ里に「幻の銘茶」を訪ねて

かつて「宇治は茶所、茶は政所」と茶摘み唄にも歌われ、幕府や朝廷にも献上されていた銘茶・政所茶。全国でも2%しか残らない在来種茶園のうちの一つ

- 政所茶の茶畑見学
- 政所茶試し飲み
- お買い物

招福楼 本店　人々が憧れ敬う極上の「おもてなし」

湖東・八日市にたたずむ招福楼――日本の美意識と食文化を伝承する静謐で格式ある名料亭。供される料理はもちろん、器から室礼、数奇屋造の建物や庭園までもが演出され、茶人でもある歴代主人の粋が展開し数多の著名人が足を運ぶ。今回、会席とともにご主人の茶席で極上の「おもてなし」を満喫します

- 昼食～ 招福楼 心入れの会席料理をゆったりご堪能
- 今ツアーのためだけの特別茶席　席主：四代目 中村成実
- 茶室見学

招福楼四代目 中村成実

17:00頃　JR京都駅着後、解散します

※ツアー中は貸切バスでの移動になります　※料理写真はイメージです

ツアー

『なごみ』2026年5月号連動企画

川喜田半泥子ゆかりの地 津を訪ねる茶の湯旅

茶人・川喜田半泥子が愛した津。『なごみ』2026年5月号で特集された舞台を巡ります。開窯80周年を迎えた仙鶴窯をはじめ、半泥子ゆかりの地を訪ねながら、津に息づく茶の湯文化に触れる旅をお愉しみいただきます。

お申込

【開催】 11月17日(火)

【会費】 49,000円(税込)

【定員】 20名（最少催行人数15名 添乗員同行）

【内容】

10時　JR津駅 ご集合

専修寺　三重県初の国宝を有する真宗高田派の本山。僧侶のご案内で、歴史と文化が息づく名刹を拝観します。

- 僧侶の案内付きで国宝「御影堂」を拝観
- 庭園「雲幽園」を見学（通常非公開）

昼食　はま作

半泥子も足繁く通った津を代表する老舗料亭。旬の食材を生かした料理とともに、半泥子ゆかりの器や茶の湯文化が息づく空間で、心尽くしのおもてなしをご堪能いただきます。

石水博物館　陶芸・書・絵画など、多彩な半泥子芸術の魅力を学芸員の解説付きで深くご紹介いただきます。

- 企画展「川喜田半泥子と冬の愉しみ」を鑑賞

仙鶴窯　半泥子の精神を受け継ぐ陶芸の里

開窯80年を迎える仙鶴窯。通常非公開の登り窯や窯場を特別見学いただきます。

- 登り窯・窯場見学
- 呈茶
- 作品鑑賞

17時30分頃　JR津駅到着後、解散

※ツアー中は貸切バスでの移動となります　※お料理はイメージです

織部黒茶碗　暗香　川喜田半泥子造

川喜田半泥子（石水博物館提供）

ポール・ラッシュ記念館応接間

【開催】10月24日(土)　【講師】榎本宗白(裏千家教授)

【会費】35,000円(税込)　【定員】30名(最少催行人員24名　添乗員同行)

【集合】10時 JR小淵沢駅 改札口 ご集合(中央本線・特急あずさ停車駅)

【内容】

10:00　JR小淵沢駅改札口 ご集合

清泉寮　八ヶ岳や富士山の絶景に囲まれた清里高原の研修施設。

- ポール・ラッシュ記念館応接間での特別茶席
  席主 榎本宗白(和田桐山、泰明氏の作品にて)
- 秦館長によるお話
  「清里に茶の湯を
  ―鵬雲斎宗匠とポール・ラッシュをつないだご縁」
- 茶陶を学ぶ講座　【講師】和田桐山氏・泰明氏
- 昼食　● お買い物

ポール・ラッシュ博士

アメリカ出身の「清里の父」。開拓と酪農を普及させ、鵬雲斎宗匠とも深く交流した。

鵬雲斎宗匠命名、登り窯「大泉窯」の窯出し

窯から出されたばかりの作品が外気に触れ、キーン、チリチリと微かに聞こえる貫入音に耳を澄ませながら、まだ温もりが残る作品の窯出しです。

- 窯出しのお手伝いをいただきます
- 作品鑑賞

大泉窯

16:30頃　JR小淵沢駅着後、解散します

※移動には貸切バスを利用します

5月に開催した山野草ツアーにご参加された皆様へ

※ツアー中で作陶した皆様の作品を窯出しをいたしますが、確認と磨きや水止めを施しますため、作品のお渡しは後日となります。

大泉窯

ツアー

榎本宗白先生とめぐる 登り窯「大泉窯」の窯出しと茶陶を学ぶ旅

お申込

美しく色づく秋の八ヶ岳南麓に鵬雲斎宗匠命名の登り窯「大泉窯」の窯出しをご体験いただきます。
清里高原の大パノラマが広がる下での茶席や茶陶を学び、満喫する一日をご案内します。

紫のゆかり 紅葉賀を愛でる茶会

茶　会

源氏物語五十四帖、錦秋のいざない

お申込

誕生から千年あまりの歳月を経た今も、なお多くの人々に愛され、読み継がれている『源氏物語』。今回は、作中屈指の華やぎに満ちた第七帖「紅葉賀」を取り上げ、その高貴で優雅、そして艶麗な世界へとお誘いいたします。舞台は錦秋を彩る行幸の宴。雅な茶席と、たゆたう薫物の香に包まれながら、いにしえの物語に想いを馳せる、席主それぞれの趣向をお愉しみください。

【開　催】11月15日(日)

【茶　席】席主：伊藤 宗恒(濃茶・薄茶席)

【香　席】席主：三本 暁明(御家流香道 公薫会)

【時　間】※ご都合の良いお席をお選びください

1席目・2席目　9時45分～

3席目・4席目　11時15分～

5席目・6席目　13時40分～

【会　場】大橋茶寮　【会　費】32,000円(税込)　【定　員】10名(1席)

東京メトロ日比谷線「神谷町駅」より徒歩5分 / 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より徒歩8分　JR東京駅よりタクシー15分

※1席目：茶席→香席→点心席 / 2席目：香席→茶席→点心席　3・5席目：点心席→茶席→香席　4・6席目：点心席→香席→茶席

©Shizuka Suzuki

茶　事

そば懐石を愉しむ茶事

お申込

茶人にも古くから親しまれてきた食べ物、蕎麦。
蕎麦の振る舞いを趣向とした茶事は「蕎麦茶事」と呼ばれ、古くから茶人たちの間で楽しまれてきました。
蕎麦を取り入れた趣向でありながら、進行は茶懐石本来の流れに沿って行われるため、初めての方でも茶懐石の趣と楽しさをご体験いただけます。東京・神楽坂の老舗「志満金」による江戸前の蕎麦懐石料理をご堪能ください。

©Shizuka Suzuki

追加開催

【開　催】11月26日(木)　12月1日(火)
【席　主】風野 宗京(裏千家正教授)
【時　間】11時～　【定　員】8名
【会　費】45,000円(税込)
【会　場】志満金(東京・新宿区)

風野宗京 プロフィール
茶人にして文筆家の三田富子氏に茶道を学び、
師の右腕として水屋仕事を担う。茶道裏千家正教授。

講　座

はじめて作る 茶席の和菓子

今年5月にご好評をいただいた安田由佳子先生による和菓子講習会を、この冬も開催いたします。今回は、新年を祝う伝統菓子「花びら餅」をお作りいただきます。新春ならではの和菓子作りを、ぜひお楽しみください。

【開　催】 12月2日(水)

【講　師】 安田 由佳子

【時　間】 午前のクラス　10時～12時30分
午後のクラス　13時30分～16時

【内　容】 花びら餅・干菓子(琥珀糖)

【会　費】 8,800円(税込)　【定　員】 各回12名

【会　場】 淡交社 東京教室

※アレルギーのある方は、事前にお申し出ください。

お申込

安田由佳子 プロフィール
(和菓子教室ももとせ主宰)

金塚晴子氏に師事し東京製菓学校和菓子専科卒業。茶席菓子製作や国内外での教室を通じ、日本の食文化を伝える。

講 座

10月
開講

漆芸家に学ぶ 金つくろい講座

お申込

いま世界中で注目される「金つくろい」の体験講座です。文化財修理の第一線で活躍する講師の指導で、欠けた部分の繕いから仕上げまで、全てに国産漆を使う本格的な金つくろいの工程を体験していただきます。
同時に、金つくろいと関連した漆芸についての講義も行い、漆の世界をより深く知っていただくことを目的としています。

【講 師】室瀬智弥(目白漆芸文化財研究所代表)　【会 場】目白漆學舎(東京都新宿区)
【入会金】要　【会 費】1回17,000円(税込)※会費は全6回分を前納　※材料費含

【金曜開催】
第1回 10月16日　第2回 11月20日　第3回 12月18日
2027年
第4回 1月15日　第5回 2月19日　第6回 3月19日

【時 間】10時 ～ 12時
【定 員】10名

※都合によりご欠席してしまった場合は、先生に作業を進めていただきます。

ツアー 海を渡った茶の湯
異国情緒が息づく長崎茶の湯旅

江戸時代、出島オランダ商館長ブロムホフが持ち帰った、200年前の茶道具が日本に里帰りします。オランダと縁が深い、ハウステンボスでの鑑賞と茶席に加え、平戸藩・松浦家ゆかりの茶の湯にも触れる、異国情緒ただよう旅にご案内します。

お申込

ブロムホフと家族の肖像画　©Collection Wereldmuseum Coll. nr.7369-1

遠州筆消息　長崎代官宛の軸

黒楽茶碗
©Collection Wereldmuseum Coll. nr. RV-360 -2153

200年前の帛紗と茶巾
©Collection Wereldmuseum Coll. nr. RV-360-2158,2159

【開　催】12月20日(日)～21日(月)　1泊2日　【定　員】20名（最少催行人員16名 添乗員同行）

【会　費】

羽田空港発着のお客様

ご集合 8時40分 / 解散予定 18時45分頃　262,000円(税込)

※伊丹空港から長崎空港への飛行機をご利用の方も羽田発の方とご一緒に貸切バスにご乗車いただけます。

現地発着のお客様

JRハウステンボス駅 ご集合 12時30分
JR武雄温泉駅 解散予定 15時5分頃　195,000円(税込)

ハウステンボスまでJRをご利用の方

10時31分 JR博多駅発 ～ 12時22分
ハウステンボス駅着の列車（ハウステンボス19号）でお越しください。
※ハウステンボス駅改札口にお迎えがございます。

※大人1名様料金（2名1室）、1名1室のご希望の方は追加料金を申し受けます。
※ハウステンボス内では専用車で移動します。

茶室　閑雲亭

松浦史料博物館

【内　容】1日目 12月20日(日)　海を渡った茶の湯

ホテルヨーロッパ　ハウステンボスが誇る最上級のクラシカルホテル

昼食　日本料理「吉翠亭」(日本料理)

ハウステンボス美術館
特別鑑賞『OTEMAE～ブロムホフ 茶道を愛した異邦人～』

今から200年前の江戸時代、出島オランダ商館長ブロムホフが「点前」や茶道を深く理解して蒐集した、貴重な茶道具の数々を解説と共に鑑賞します。(オランダ国立文化博物館所蔵)

- 堀内宗長氏(企画展監修・茶人)による特別茶席(立礼)と解説

「200年ぶりに里帰りをした生きた茶の湯道具」「茶道を愛した異邦人、ブロムホフ」など博物館に収蔵されて、状態が保たれた茶の湯道具。歴史を感じ、現代の茶道具との比較も見どころ。

- 田中学芸員による解説

ホテルヨーロッパ　泊

夕食　デ・アドミラルにてクリスマスディナー(フレンチ)

※夕食後は美しくライトアップされた園内の自由散策もお愉しみいただけます

©ハウステンボス／C-10481

【内　容】2日目 12月21日(月)　異国情緒ただよう平戸　まつらの茶の湯

松浦史料博物館　平戸藩の藩主、松浦家の歴史史料や伝来の美術品を所蔵する博物館

- 岡山芳治館長による、宗及茶湯日記(天王寺屋会記※)原本の鑑賞と特別解説

※堺の豪商、天王寺屋の津田宗達・宗及・宗凡と三代に渡る茶会記

- 37代松浦栓公により建築された草庵茶室「閑雲亭」にての茶席

昼食　眺望亭 寅の月

平戸城を望む、眺望でこだわりの平戸食材をお愉しみください。

平戸蔦屋　平戸藩松浦家御用菓子司

お話「南蛮銘菓を由来とする平戸菓子の歴史」「百菓之図の解説」

平戸銘菓カスドース

現地発着のお客様：JR武雄温泉駅15：05頃着後、解散となります。
羽田発着のお客様：羽田空港18：45頃着後、解散となります。

写真提供：(一社)長崎県観光連盟

講　座

『よくわかる茶道具鑑賞入門』刊行記念

小田達也先生に学ぶ、茶道具の見かた

『よくわかる茶道具鑑賞入門』の刊行を記念して小田商店・小田達也氏による茶道具の鑑賞講座を開催いたします。今回取り上げるのは「第一の道具」掛物。少人数のサロン的雰囲気の中、名品を扱い目の利くお道具屋さんから鑑賞の仕方を学びます。また、茶室にて名品の設えで一服とはち巻岡田謹製の点心をお召し上がりいただきます。茶道具をあらためて学ぶひと時、どうぞお愉しみください。

【開　催】12月16日(水)

【講　師】小田達也　【会　費】22,000円(税込)

【時　間】午前のクラス 10時～13時30分
午後のクラス 14時30分～18時

【内　容】茶道具についての講義、名品での呈茶、会食

【定　員】各回12名　【会　場】銀座 はち巻岡田(東京都中央区)

お申込

小田達也
プロフィール

御茶道具・小田商店社長。株式会社大阪美術倶楽部監査役。大阪美術商協同組合理事。1962年古美術商・小田榮一の長男として大阪に生まれる。九州大学工学部大学院卒業後、2003年父の薫陶を受け小田商店株式会社を設立。2020年兵庫県芦屋市に店舗を構える。三代にわたる茶道研究家で茶道各誌に寄稿している。

＊代金や表示されている時刻や情報は2026年9月現在のものです ＊変更になることもございますので、最終(確定)書面にて必ずご確認ください。

Instagram ©TANKO_CULTURE
LINE @871dhqul
[お問い合わせ・お申し込み](お電話受付時間 平日9:00～17:00)
Tel 03-5379-3227　Fax 03-5269-7266
株式会社淡交社 文化事業部　〒162-0061 東京都新宿区市谷柳町39-1 菅屋ビル